

乗鞍山麓五色ヶ原の森に新ルートがオープンします！

乗鞍山麓五色ヶ原の森では、乗鞍岳の麓にある広大で豊かな自然の魅力をより多くの方に体感いただくため、新たに「ゴスワラコース」を整備し、コース内には休憩や緊急時の避難用に使用する「仙人小屋」を配置しました。

滝をめぐる「カモシカコース」、溪流や池をめぐる「シラビソコース」とは異なる、新たな五色ヶ原の森の魅力が体感できる「ゴスワラコース」のオープンは、6月27日(木)を予定しています。(カモシカコースとシラビソコースは例年どおり5月20日(月)にオープンします)

●名称の由来

「ゴスワラコース」

乗鞍岳の噴火で形成された溶岩台地を地元の方言で「ゴスワラ」といいます。新ルートでは五色ヶ原の森の特徴的な「ゴスワラ」が造り出した、幻想的な風景を随所で見られるため、「ゴスワラコース」としました。

「仙人小屋」

ゴスワラコースでは、「いたんどせんじん板殿仙人」などの先人達が開発したと伝えられる旧乗鞍登山道の一部を辿ります。五色ヶ原の森と乗鞍岳の歴史を学び、先人達の姿を思い浮かべていただくため「仙人小屋」としました。

●ゴスワラコースの見どころ

ゴスワラコースは、起終点となる岩魚見小屋から乗鞍岳方面に周回する、全長約6.4km、高低差約300mのコースです。



白川



黒川

ゴスワラコースマップ



<前半>

白く美しい「白川」の溪流や、曲線が柔らかく幻想的な滝、大きな溶岩塊で囲まれたコンサートホールのような広場「森の音楽堂」、樹齢200年以上と推測されるトウヒの巨木の間を通り、「仙人小屋」を目指します。前半は主に登山道となり、標高差による森林の垂直分布が観察できます。

<後半>

前半の白川とは異なり、「ゴスワラ」で形成され、コケに覆われた岩が美しい「黒川」の溪流沿いを下ります。この辺りは、乗鞍岳の旧登山道となり、昔に使用されていた炭窯跡が見られるなど、かつての山と人のつながりを垣間見ることができます。

<仙人小屋>

自然景観に配慮した外観としており、電気は五色ヶ原の森の中で水力発電した電気を使用しています。

また、トイレは洗浄機能付き洋式便器を採用し快適性を確保しながらも、汚水を外部に排出しない浄化槽を備えるなど、自然環境に優しい造りとなっています。緊急時の避難所としての役割も持っています。



仙人小屋



原生林

<中盤>

仙人小屋での休憩後、昭和中期に使用した林道跡を通り、人の影響をほとんど受けていない国内でも稀少な原生林エリアに入ります。このエリアの終盤では、神秘的な「ゴスワラ」の斜面が一面に広がる景色を見ることができます。

●ご利用について

乗鞍山麓五色ヶ原の森は、自然保護や安全にご利用いただくため森の案内人(ガイド)がご案内する有料ツアーとなっており、ご利用には事前予約が必要です。ご利用方法や料金のお問い合わせ、ご予約については五色ヶ原の森案内センターへご連絡ください。

●五色ヶ原の森案内センター ☎0577-79-2280 ホームページ <http://goshiki2004.com>

●環境政策推進課 ☎35-3533